

第12回 千葉県地域連携の会 開催要項

- 1 目的 今後、地域住民が今まで以上に健康で質の高い生活を営むには、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されることが必要となります。また、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じた体制作りが求められています。
 本会では、医療、介護、福祉、行政等の関係者が一堂に会して対策が必要な課題について議論し、よりよい連携体制を構築することを目指します。
- 2 テーマ 予防から在宅まで～提携機関制度を始めたい～
- 3 開催日 平成30年8月2日（木） 午後2時から午後8時まで
- 4 会場 千葉大学医学部附属病院 外来診療棟3階（千葉市中央区亥鼻1-8-1）
 ＊ 各分科会等の会場については、決定次第、ホームページにて御案内します。
- 5 主催 千葉大学医学部附属病院
- 6 参加 医療・介護・福祉・行政等関係者、当院教職員
- 7 参加費 無料
- 8 申込み 平成30年7月20日（金）までに、以下のホームページよりお申込みください。
 ＊ 申込は先着順に受け付けます。
 ＊ 申込受付の連絡は行っていませんので御了承ください。
 ＊ 申込多数のため参加をお断りする場合があります（当院から連絡いたします）。

ホームページアドレス <http://www.ho.chiba-u.ac.jp/event/index.html>

9 プログラム

12:45～ 受付開始 御来場の際には、外来診療棟3階廊下に設置している総合受付にて、受付をお願いいたします。

13:15～ 病院内見学ツアー

当院内の主要な施設を御見学いただきます（所要時間約30分）。

※ 見学コースは昨年度と同じになります。

【定員80名】

14:00～15:30 第1部 開会・全体会

開会式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主催あいさつ ・ 来賓あいさつ
全体会	<p>今年度の全体会では、山形大学蔵王協議会の副会長を務めていらっしゃる山形大学医学部長の山下英俊様に御講演いただきます。</p> <p>山形大学蔵王協議会は、医療全般を科学的に、地域や各病院の意見や希望を合理的に検証しながら、山形県の医療を良くすることを目指しており、行政や地元及びマスコミから全国的に評価されています。</p> <p>今後、千葉県において望ましい地域連携体制の構築を目指すに当たり、当院と地域の皆様がどのように連携し、どのように貢献していくことができるかを考える場としたいと思います。</p>

15:45～17:15 第2部 分科会1

分科会A 提携機関制度	<p>地域包括ケアシステムの構築が推進される中で、千葉大学病院の地域での役割を鑑み、患者さんの意思を尊重した医療・介護の提供を目指し、提携機関制度を設立することになりました。</p>
----------------	---

	<p>提携機関制度とは、医療、介護、在宅、生活支援・介護予防などの各分野において、患者さんに診療の継続性やサービスの質の担保を提供するため、地域の皆様と提携するというものです。</p> <p>本分科会では、事前に皆様に御提出いただいたベッドマネージメントに対するアンケートを基に、提携に必要な項目を洗い出し、御関係者様の忌憚のない御意見を賜りながら、地域の現状を踏まえた望ましい提携の形を検討させていただきたいと思っております。</p>
<p>分科会B 未診断疾患イニシアチブ (Initiative on Rare and Undiagnosed Disease(IRUD))： 成人ならびに小児における稀少未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する千葉県地域連携</p>	<p>遺伝子診療部を中心として IRUD 診断委員会を構築し、千葉県内の医療機関との連携を推進することにより、成人および小児 IRUD 拠点病院として全国展開可能な自律的に機能するシステムを構築することを目的とする。さらに、遺伝カウンセリングや遺伝学的検査に関する千葉県地域連携についても意見交換を行う。</p>

17:15~18:30 情報交換会

軽食を用意しているほか、参加施設による自施設紹介の時間を設けております。より良い役割分担と連携を進めるためにも、施設の特徴や現在地域で担われている役割、今後の構想など、皆様の施設の状況を教えていただき、参加者の方々と共有する場にしたいと思います。

また、発表をされない方におかれましても、参加者同士の情報交換の場として御活用いただき、連携促進の一助としていただきたいと思います。

なお、自施設紹介を希望される場合は、事前に申し込みが必要になりますが、発表者以外の方の参加については、事前申し込みは不要です。

【発表募集数：10施設程度】

18:30~20:00 第3部 分科会2

<p>分科会C 診療情報の円滑な共有</p>	<p>円滑な地域連携を支援するために、こういった場面（施設間・職種間など）で、こういった情報が、どのように、伝わる、または、共有されるといいか、を、参加くださる方々とともに、協議し、洗い出します。</p> <p>今後の千葉県内での、または、県外も含めて、連携の濃淡に応じた、施設間・職種間における、円滑な情報の伝送・共有の仕組み・運用を、協創・構想・整備していく場を作れますと幸甚です。</p> <p>ご参加くださる方々には、ぜひ、日頃、施設間・職種間の連携で、不足・遅滞し、困っている、望んでいる、送って欲しい、共有して欲しい情報を、あらかじめ、ご用意いただき、当日、ご提示いただきたく存じます。</p>
<p>分科会D 退院支援の強化 在宅復帰の推進</p> <p>【定員40名】</p>	<p>千葉大学では、学生に対して多職種連携教育（Inter-professional Education）を行い、専門職連携実践を担うための能力育成を継続していますが、千葉大学病院で連携の実践を担う我々としては多職種連携実践（Inter-professional Work）の促進、深化が求められる段階に来ていると考えます。本分科会では、スムーズな在宅復帰にむけての連携のあり方、および退院支援のための連携強化における課題について、事例を交えながら、参加者や各施設の方々と相互に十分な議論ができる場になればと考えています。</p>